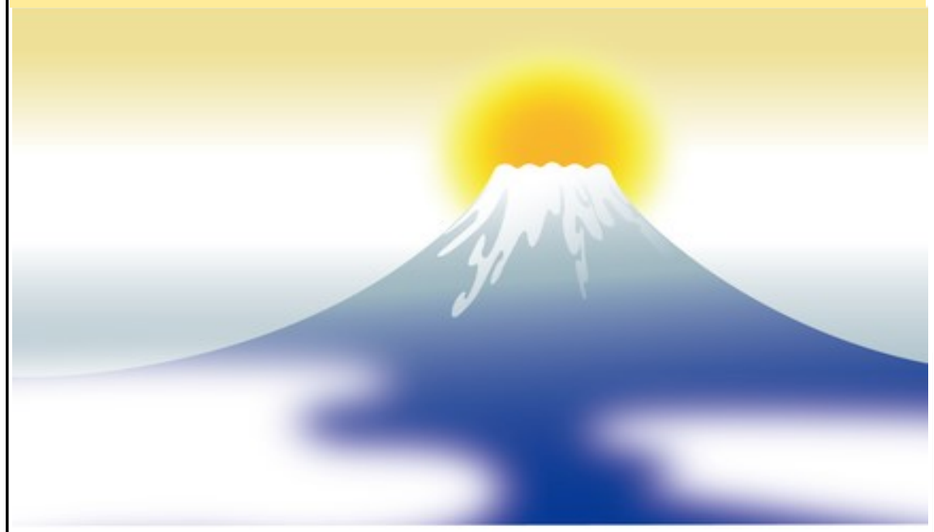
結い　だより

第７６号
発行
社会福祉法人　結い
〒703-8255
岡山市中区東川原18-1　203
TEL　086-206-7385
FAX　086-206-2801
発行責任者
前田　勝子

2025年
新年あけまして
おめでとうございます



社会福祉法人　結い
理事長　前田　勝子

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は社会福祉法人結いの活動に皆様からの温かいご支援とご協力を賜りありがとうございました。

本年も結いの仲間とともに無事新年を迎えることができましたことを心より感謝申し上げます。

新型コロナウィルス感染症が感染症5類になった昨年秋、食事会などマスクを外す機会も増え、久しぶりに鏡に映る顔をまじまじと見たら、左のほうれい線上に数ミリの色素沈着を発見。もともと、私の顔のあちこちには黒子やシミが散在していたので　また、シミが増えた」加齢によるシミだから仕方がない」「これからもシミは増えていくだろう」と老いを受容しようとしましたが、「レーザーでシミ取りをしてもらおう」と発起。近所の美容皮膚科を受診しました。

拡大鏡（だーもスコープ）で指針を終えるや否や、病理検査もしていないのに、院長先生から「皮膚がんです」と宣告を受けました。

国立がん研究センターの統計によると日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人が、がんで死亡すると言われています。しかし、検査法や治療法が進み、早期に発見し治療すれば　がんは治る病気」になっています。

そのためには、年に一度は健康診断を受け、身体に異変を感じたら先延ばしすることなく迷わず病院を受診しましょう。

今年こそ、世界に平和が訪れ、皆様が健康で幸せに暮らせる一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

経験交流会　初めて開催される！！
利用者の生活　9割がワーキングプア！
5割が相対的貧困以下

12月7日（土）職員11名が参加し、ワークハウス・わくわく！で初めて、事業所職員間による 利用者に対する支援経験交流会」が開かれました。

当日は、まず高橋統括管理責任者による 全国利用者実態調査」の学習からはじまり、ワークハウス・わくわく！」喜楽」の利用者の生活実態について報告されました。

ワーキングプア（200万円以下）については、全国が97、2%で ワークハウス・わくわく！」喜楽」は89%とやや低め。相対的貧困（127万円以下）は、全国は78，6%と高い数字ですが、ワークハウス・わくわく！」喜楽」とも48%と約2人に1人という数字となりました。

きょうされん」は2015年に同様の調査をしていますが、全国の数字はほとんど変わらず障害のある人たちの収入は、不当に低い水準のまま据え置かれていると言えます。

誇りをもち生き生きと働いていくために

就労継続支援B型事業として ワークハウス・わくわく！」は、洗濯・封入れ作業と病院内の売店、喜楽」は宅配弁当屋を経営しています。どちらも、30名前後の利用者が自分の目標にあわせて働きに来られています。

両事業所の職員とも、日頃は就労支援事業に追われお互いの経験を交流する機会が持てずにいましたが、どちらの事業所も20数年に及ぶ就労支援経験を持っており、利用者の一般就労支援にはじまり、所得保障としても1か月平均4万円を保障しています。

ワークハウス・わくわく！」からは、先輩利用者の励ましや他の利用者の頑張っている姿が本人のモチベーションにつながり、頑張って通所できるようになったことが報告されました。

喜楽」からは、本人が作業に責任をもって行えるようになるために、日によって変わっていた作業内容を固定した結果、利用者が安心して作業に取り組めるようになったことが報告されました。それぞれに対し、各事業所から日頃の疑問や意見などが活発に出され、明日からの支援につながる有意義な場となりました。

最後に高橋統括管理責任者から、私たちの支援は事業所に働きに来てくれる利用者が、誇りをもって生き生きと働いてもらうことであり、そのために相対的貧困・ワーキングプアから脱出できるための就労支援事業所の収益の予算とそれを遂行していくための事業計画を2025年1月理事会までに各事業所ごとに作成することが提案され、研修会は閉会となりました。

結い後援会への新規加入と継続のお願い

私達は、障害を持って生きていかなければならない人々へ、温かい行政と財政支援を要求するべく、今後も努力し続けます。しかし、私達の力だけでは微々たるものです。ぜひ「結い」後援会にご加入いただき、私達の活動を支えてくださいますようよろしくお願い致します。

また、２０２４年度分の会費未納の方につきましては、継続してご協力いただけますように何卒よろしくお願い申し上げます。

＜振込先＞　郵便振込口座　０１３６０－０－５７７５７
社会福祉法人「結い」後援会
（個人：年1口　千円　　団体：年1口　３千円）

ワークハウス・わくわく！
喜楽　統括管理責任者
ハウスけやき　所長
髙橋　陽子

新年あけまして
おめでとうございます

昨年は、旧優生保護法訴訟が最高裁で全面勝訴となり、新しい法案が作られ全面和解に向けて動き出しました。長いトンネルの先に光が見えてきたような気がします。ただ現場の人材不足は深刻です。障害があっても自分の暮らしたい場所で、暮らしたい人と暮らす。それは、夢ではなく権利のはずです。安心して暮らすことができるよう、安定した職員雇用につながる制度の改定を望みます。

また、職員一人一人が利用者に対して自信と責任を持ち支援できるように、法人独自としても、職員に求められる役割」から始まり障害の特性」支援の方法」対応の仕方」《アラスメント」等の学習会を月に1回行いました。職員は法人の財産です。利用者が生き生きと働いてもらうためにはどうしたらいいのか。職員一人一人も輝けるような仕組みを考えていきたいと思います。

ワークハウス・わくわく！　所長
黒田　博美

皆さま、新年明けまして
おめでとうございます

昨年は多くのご支援とご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。障害福祉サービス事業を取り巻く環境は、利用者ニーズの多様化や人材不足、デジタル化の進展など、大きく変化しています。こうした中で、柔軟で持続可能な運営を目指す私たちの役割は、ますます重要になっています。また、人材不足は民間企業にも共通する課題であり、多様な人々が活躍できる場を提供するB型事業所の意義はさらに高まっています。

本年は、利用者一人一人が自分らしく働き、夢を持てる場」を実現するため、人材育成や設備拡充、地域との連携を強化します。特に、所得向上という目標を達成すべく、事業の収益性向上に向けた取り組みを加速させてまいります。

皆さまと共に、地域共生社会を支える拠点づくりを進める一年にしてまいりたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。新たな一年が皆さまにとって幸多きものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

喜楽　所長
早瀬　文香

新年あけまして
おめでとうございます

旧年中は後援会の皆様方からのご支援を賜り厚く御礼申し上げます。振り返ると２０２４年は３年に１度の報酬改定を受けて、私たちを取り巻く環境が大きく変化した年でした。社会福祉基礎構造改革以降、福祉が市場化され儲け主義の営利企業が多数参入してくる中、今回の改定ではとりわけA型事業所に大きくメスが入り全国的な閉鎖により大勢の当事者が失業するという結果となりました。また、国の言うメリハリをつけた評価が強化され加算で経営を維持しないといけない状況になり、人材不足と相まって事業所の運営は日々綱渡りといった様相です。

また、昨年法人全体で行った実態調査では、事業所に通う仲間に置かれる厳しい経営状況は未だ変わらないことを再認識しました。岡山県内で私たちの事業所は比較的工賃が高い事業所ではありますが、親との同居で成り立つ生活、一人暮らしは生活保護を受給しないとできないという現実は、きょうされんの行った全国調査と同じです。そのような厳しい状況にあって、２０２４年７月３日に旧優生保護法の最高裁において勝訴判決という明るいニュース、改めてひとつひとつの声を集め運動につなげていく大切さを実感しました。

大変な状況にはありますが、２０２５年も仲間の声を真ん中にお互いを認め合いながら、誰もが自分らしく働ける場作りを目指して一歩一歩前に進んでいきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

きょうされん 第47回 全国大会（ｉｎ滋賀）に参加して

創ろうみんなで あたりまえの未来を
～発達保障と障害者権利条約を、びわ湖の地から～

大勢のボランティアさんが出迎えてくれました

11月8日(金)、9日(土)2日間にわたり滋賀県にて行われたきょうされん全国大会に結いからは、ワークハウス・わくわく！から利用者1名、喜楽から職員1名の計2名が参加しました。

ＪＲ草津駅から会場のＹＭＩＴアリーナまで沿道で大勢のボランティアの方がお出迎えして下さり目的地までスムーズに行くことが出来て心強かったです。

（ワークハウス・わくわく！　Ｋさん）

今年のスローガンはすごい！

今大会のスローガンは 創ろうみんなで あたりまえの未来を～発達保障と障害者権利条約を、びわ湖の地から～」と題し、開会式で障害のある人の命と権利が守られるという観点から幾多の人権規約を土台にした障害者権利条約、そのもとにおかれた国連障害者権利委員会の日本政府への総括所見に学び、この時代だからこそ英知を信じて未来を見つめて進むことが重要とのお話をしていただきました。

開会式後、クサツエストピアホテルに移動して利用者フォーラムＢＭＵＳＩＣ ＴＯ ＡＲＴ」に参加をしました。テーマソングの「ひまわり」を歌いダンスを踊ったり歌ったりして楽しい時間を過ごすことができました。

２日目は、利用者の方と交流研修会に参加して、テーマ「今の社会で気になっていること」について、意見を出したり聞いたりしてすごく参考になりました。特に、旧優生保護法の問題について、職員だけでなく利用者も学ぶ場を作らないといけないなと思いました。

今では間違った考えだとわかりますが、この法律が作られた昭和の時代は 障害者が結婚できないのは当たり前と思われていた」と言うのを聞き、悲しみと何とも言えない気持ちになりました。

（喜楽　Ｍさん）

ひこにゃんも、いっしょに参加してくれました

利用者の方に今年頑張りたい事を聞きました

- 頑張ってもっと働けるようになりたい
- 少しでも喜楽に来れるように頑張りたい
- 新しいことに挑戦したい
- 皆さんと仲良く頑張っていきたい
- あせらずにマイペースにいきたい
- 日常生活で出来る事を増やす